

----- チェルノブイリ原発事故から 30年 -----

本橋成一 監督

ドキュメンタリー映画 2作品 一挙上映

地図から消えた村に暮らす  
人びとの物語

10:00~ ナージャの村

НАДЕЖДА



チェルノブイリ原発事故で汚染されたベラルーシ共和国ゴメリ州ドゥヂチ村。原子力とは無関係の生活をする村であるにも関わらず、放射能汚染のため、国の立ち退き要請で地図から消えてしまった。それでも村に残る6家族がいる。美しく厳しい自然とともに、大地に根ざして明るくたくましく生きる彼らの暮らしは、豊かさとは何かということを私たちに教えてくれる。

音楽：小室等 語り：小沢昭一 1997年 118分

百年間静かに湧き続ける  
泉の物語

13:30~ アレクセイと泉

Алексей и Крыница



「ナージャの村」から5年、再び本橋、一之瀬コンビで作られた作品。原発事故で被災したベラルーシ共和国東南部にある小さな村ブジシチェ。学校跡からも、畑からも、森からも、採集されるキノコからも放射能が検出されるが、不思議なことにこの村の泉からは一切検出されない。村人たちは自慢そうに答える「なぜって？それは百年前の水だからさ」と。湧き続ける泉は、私たちにを多くを語りかけ続けている。音楽：坂本龍一 2002年 104分

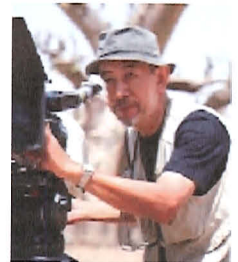
12:00~

「ナージャの村」「アレクセイと泉」を撮影した  
一之瀬正史 カメラマンのお話

ベラルーシ撮影秘録



映画カメラマン。1977年「わが街わが青春・石川さゆり水俣熱唱」（監督：土本典昭）でデビュー。「ナージャの村」にて日本映画撮影監督協会JSC賞受賞。芸術性の高いカメラワークには定評がある。作品は「アレクセイと泉」「ナミイと唄えば」「バオバブの記憶」2015年公開「アラヤシキの住人たち」他。



10/23(日)

仙台国際センター1階研修室

仙台市青葉区青葉山 TEL022 - 265-2211

入場料 1作品 600円 2作品観賞前売券 1000円 \*2作品観賞前売券 桜井薬局セントラルホールで発売

主催：日本ユーラシア協会宮城県連合会 助成（公財）仙台観光国際協会

共催：右岸の羊座シネマテーク 問合せ 070-5326-1974 大越まで